

# メール BOX

J R 東日本労働組合  
水戸地方本部  
発行者 / 河原井 敦司  
編集者 / 教 宣 部

## 地方委員会の発言を受け安全問題・ 常磐線全線開通問題について

3月14日会社に申し入れ

### 安全問題（申5号）

1. 1月9日勝田車両センター構内での「信号冒進」、1月23日常磐線荒川沖駅構内での「速度超過」、1月29日常磐線東海～大甕駅間「速度超過」における、一連の事故に対する支社の考え方を明らかにすること。
2. 今回の事故に対する再発防止をするための支社の考え方を明らかにすること。

### 常磐線開通問題（申6号）

1. 現在の常磐線（富岡駅～浪江駅間）開通の作業に対する進捗状況及び放射線量を明らかにすること。
2. 2019年度末に開通に向け作業を進めているが、開通まで1年あまりとなり運転再開までの詳細なスケジュールを明らかにすること。
3. 現在国道6号線及び高速道路も富岡～浪江間においてバイク等の通行禁止となっているが、鉄道については、安全なのか考え方を明らかにすること。
4. 列車運転において輸送障害が発生をした場合の取り扱い方について考え方を明らかにすること。
5. 異常時における避難誘導等についての支社の考え方を明らかにすること。
6. 全線開通の際には、いわき～仙台駅間の特急列車等の運転を考えているのか明らかにすること。

- ・ **安全は労使の垣根を越え議論し、今後の事故の撲滅が必要だ！**
- ・ **常磐線全線開通は、労使お互いが開通に向け議論し、様々な問題を解決することがJRグループの意願である常磐線開通だ！**